

2023 年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	ゼミナールⅣ (Seminar Ⅳ) 264046-14-000					担当教員	中村 大輔 (ナカムラ ダイスケ)		
科目区分	ゼミナール科目	必修・ 選択区分	必修	単位数	2	配当年次	4 年次	開講期	通年
科目特性	協同学修型 AL								

① 授業のねらい・概要

中村ゼミでは「会計を通じて企業を知る」をテーマとしている。特に企業が公表する有価証券報告書等の資料を用いることで、定量的・定性的にその企業の戦略とその成果を明らかにし、さらにはその将来像を見通すことができる。こうした分析は株式投資におけるファンダメンタル分析にも繋がる。

そこで、本ゼミではゼミ生各々が自分の興味がある企業を選択し、その企業を1年間かけて詳細に分析を行う。そして年度末にはそれを卒業論文としてまとめることとする。特に本年度は、ファイナンス要素として企業価値（株価）推定計算なども行う。こうした実践により「専門的知識を用いて情報収集・分析をすることができる職業人」を育成する。

② ディプロマ・ポリシーとの関連

地域社会に貢献する姿勢／職業人として通用する能力／専門的知識・技能を活用する能力／コミュニケーション能力／情報収集・分析力 を養う。

③ 授業の進め方・指示事項

資料収集やデータ入力および分析のために PC 必携とする。

④ 関連科目・履修しておくべき科目

「会計学1・2」、「財務会計1・2」「管理会計」、「経営分析」を履修することが望ましい。

⑤ テキスト（教科書）

川島健司(2021)『起業ストーリーで学ぶ会計』中央経済社

⑥ 参考図書・指定図書

大手町のランダムウォーカー(2020)『世界一楽しい決算書の読み方』KADOKAWA
 大手町のランダムウォーカー(2022)『世界一楽しい決算書の読み方 実践編』KADOKAWA
 青木茂男編著(2016)『要説 経営分析（五訂版）』森山書店
 各年度版『会社四季報』東洋経済新報社

⑦ 評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安

- (i) 有価証券報告書等の基本的な構造・内容が理解し、説明できる。
- (ii) 対象とする企業を分析した卒業論文を作成できる。

⑧ ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	S	A	B	C	D
	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(i) 有価証券報告書等の基本的な構造・内容	有価証券報告書等の基本的な構造や内容を具体的な企業例と共に説明できる	有価証券報告書等の基本的な構造や内容を自らの言葉で説明できる	有価証券報告書等の基本的な構造や内容について、資料等を見ながら説明できる	有価証券報告書等の基本的な構造や内容について、資料および教員の支援を受けて説明できる	有価証券報告書等の基本的な構造や内容について、資料および教員の支援を受けても説明できない
(ii) 対象とする企業を分析した卒業論文の作成	作成された卒業論文が、今後の投資の指針となり得るレベルに達している	財務諸表のデータと企業戦略や株価との関連が、新たな視点とともに明らかにされている	財務諸表のデータと企業戦略や株価との関連が、ニュースなどで報道されている内容とリンクする形で明らかにされている	財務諸表のデータと企業戦略や株価との関連が、テキストや参考書に掲載している分析方法に沿って明らかにされている	テキスト等に掲載している分析方法をなぞる形であっても、卒業論文が完成できない
(iii)					

⑨ 学習の到達目標（評価項目）とその評価の方法、フィードバックの方法								
学習到達目標（評価項目）	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合				70%	30%			100%
(i) 有価証券報告書等の基本的な構造・内容				35%	15%			50%
(ii) 対象とする企業を分析した卒業論文の作成				35%	15%			50%
(iii)								
フィードバックの方法	作成したレジюмеや卒業論文等は授業中に適宜コメントを付ける							

⑩ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
企業分析だけではなく、企業価値評価を通じて自らの資産形成に役立つような形としたい。

⑪ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分） （※特別な持参物）	
1	ガイダンス	積極的に経済分野のニュースを読む	120 分
2	決算書とは	損益計算書、貸借対照表について、その構造や内容を概観しておく	120 分
3	決算短信・有価証券報告書、会社四季報、会社財務カルテを入手してみよう	積極的に経済分野のニュースを読む	120 分
4	日経テレコンを利用してみよう	図書館で日経テレコンを利用し、自分が気になる企業の記事をさがしてみる。	120 分
5	会社四季報を読む①（成長株・割安株・復活株）	会社四季報で自分が興味のある企業を調べる	120 分
6	会社四季報を読む②（財務状況のチェック）	会社四季報で自分が興味のある企業を調べる	120 分
7	決算短信・有価証券報告書を読む①（全体の構成）	決算短信・有価証券報告書を入手し概観する	120 分
8	決算短信・有価証券報告書を読む②（P/L）	損益計算書を概観し、特徴を探る	120 分
9	決算短信・有価証券報告書を読む③（B/S）	貸借対照表を概観し、特徴を探る	120 分
10	決算短信・有価証券報告書を読む④（C/S）	キャッシュ・フロー計算書を概観し、特徴を探る	120 分
11	株価指標とは①（PBR）	興味のある企業の PBR を計算する	120 分
12	株価指標とは②（PER）	興味のある企業の PER を計算する	120 分
13	成長株をさがす（ROE と ROA）	興味のある企業の ROE、ROA を計算する	120 分
14	投資してみたい企業を探す	興味のある企業の中から、実際に投資してみたい企業を選択する	120 分
15	前期まとめ（分析対象企業の発表）	分析対象とした企業を選択した理由を考えておく	120 分
16	後期ガイダンス	資料の収集と分析の準備を進める	120 分
17	収益性分析	対象企業の収益性を分析する	120 分

18	安全性分析	対象企業の安全性を分析する	120 分
19	生産性分析	対象企業の生産性を分析する	120 分
20	成長性分析	対象企業の成長性を分析する	120 分
21	時系列分析	対象企業の収益性・安全性・生産性・成長性を時系列で見ておく	120 分
22	業界平均との比較	対象企業と業界平均との差を見ておく	120 分
23	卒業論文の作成・発表①	データを表やグラフにまとめる	120 分
24	卒業論文の作成・発表②	定性的データを収集する	120 分
25	卒業論文の作成・発表③	卒業論文の分析視角から構成を決める	120 分
26	卒業論文の作成・発表④	卒業論文の本論を執筆する。	120 分
27	卒業論文の作成・発表⑤	卒業論文の本論を執筆する。	120 分
28	卒業論文の提出	卒業論文を完成させる。	120 分
29	卒業論文発表会①	各自の卒業論文を発表するための原稿作り	120 分
30	卒業論文発表会②	各自の卒業論文を発表するための原稿作り	120 分

⑫ アクティブラーニングについて

協同学修型 AL を採用する。テキスト及び会社四季報・有価証券報告書を読み、レジュメにまとめて報告する。

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目

実務経験の概要

実務経験と授業科目との関連性